

(株) オヤマとの環境保全協定締結予定について

1 (株) オヤマについて

昭和44年7月創業。「奥州いわいどり」「奥の都どり」「地養鳥」などの鶏肉およびその加工品を生産、処理、加工、流通、販売の一貫システムで供給している。県内外に7つの工場を保有。「奥州いわいどり」のからあげ家も展開し、日本唐揚協会が主催する「からあげグランプリ」で金賞以上を受賞した店舗のみが出店できる「からあげフェスティバル No.1 決定戦」にて、初代優勝を飾る。

令和2年7月に市と立地協定締結。

2 釜石市での事業及び施設内容

場 所 : 栗林町 養豚場跡地約 42, 200 平方メートルの敷地を活用

設 備 : 次ページ参照

鶏舎 8 棟、鶏糞倉庫、鶏糞加工装置（燃烧ボイラー室）、燃烧灰倉庫、管理棟

内 容 : 鶏を飼育し、生鳥のまま一関市室根町の工場まで輸送

飼育期間 = 1 サイクル 66~75 日間

出荷数 = 160,000 羽×5 回または 6 回/年

その他 : 鶏糞を鶏舎の暖房燃料、肥料として活用



(株) オヤマ ホームページより

3 協定内容案

主に水質（排水）に関して規定。

（騒音・振動・悪臭に関しては、都市計画区域外であることから、法的規制はなし）

4 スケジュール

令和6年3月 竣工式

令和6年4月初～中旬 稼働 ※環境保全協定の締結時期を合わせる

5 その他

高病原性鳥インフルエンザが発生した場合は、県の指示に従い対応する。



- ① 管理棟
- ② 焼灰倉庫
- ③ 鶏糞倉庫
- ④ 鶏糞加工装置（焼ボイラー室）
- ⑤ 鶏舎（12間×30間）
8棟
- ⑥ 沈砂池

